

(様式3)

平成30年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	小俣児童館	所在地	伊勢市小俣町元町662-1
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日
設置目的	児童館事業:児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し情操を豊かにするため 放課後児童クラブ事業:就労等により昼間保護者が家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図るため		
業務内容	・職員の雇用に関すること ・伊勢市小俣児童館の事業に関すること ・伊勢市小俣放課後児童クラブの事業に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること(清掃業務、警備業務、施設等修繕業務 等) ・伊勢市小俣放課後児童クラブ第2及び第3の業務委託を別途受託できること ・その他業務に関すること(危機管理及び個人情報保護、守秘義務、情報公開 等)		
施設概要	平成3年4月完成 敷地面積419㎡、建築面積157.74㎡、延べ床面積257.72㎡ 鉄筋コンクリート造2階建 定員70名		
職員体制	館長 兼 放課後児童支援員 1名 児童の遊びを指導する者 兼 放課後児童支援員 16名 補助員 9名		
施設所管課名	こども課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	比較(C-B)
事業 収支	指定管理料	17,384,000	15,636,000	15,636,000	0
	利用料金	3,846,900	3,842,000	3,928,800	86,800
	その他	10,391,311	4,542,533	756,598	△ 3,785,935
	計(a)	31,622,211	24,020,533	20,321,398	△ 3,699,135
	人件費	20,185,463	20,797,055	20,857,316	60,261
	管理運営費	3,153,503	3,506,603	4,005,416	498,813
	その他	1,703,020	1,468,544	62,832	△ 1,405,712
	計(b)	25,041,986	25,772,202	24,925,564	△ 846,638
収支差引額(a)-(b)	6,580,225	△ 1,751,669	△ 4,604,166	△ 2,852,497	

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	支出 管理運営費 児童クラブの定員増に伴う事業費および事務費等の増 その他 繰入金支出なしによる減
----------------------------------	--

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
事業計画書に従った管理を行った。 児童館では、児童を対象に月1回開催している工作教室の実施、月2回開催しているドッジボール大会、乳幼児親子を対象に月1回乳幼児お話を実施した。 ボランティアによる、陶芸教室や茶道教室、民生委員による交流会、老人クラブとの昔の遊びを通しての交流会、明野高校実習生受け入れやちよこっとボランティア受け入れ等、地域との連携を大切にすることを心がけた。 夏休みの思い出になるようにデイキャンプやみえこども城の移動児童館によるカプラ大会を開催した。	施設の管理については適正に行われていた。 工作・陶芸教室や、各種大会、世代間交流、野外活動等、行事を創意工夫し、利用者や保護者から好評を得ていることは評価できる。 平成30年度は小俣児童館で1件事故が発生しているため、利用児童が安心・安全に利用できるように心がけていただきたい。 各種行事にも力を入れ、満足度調査からみえてくる利用者のニーズに応えるべく事業を行い、また、伝統的な行事も大切に、地域と一体となって取り組んでいること、さらに新しい行事も積極的に展開

指定管理者	市
<p>「児童館まつり」では、児童クラブの保護者の方々の協力の下毎年開催しているが、年々参加者数が増し児童館最大イベントとなり、地域の方々も毎年楽しみにしてもらっている。</p> <p>地域とのつながりを意識して、「ハロウィンイベント仮装して児童館に集合！」では、近隣の住民の方々や民生児童委員のご協力の下「仮装した子どもたちが、お宅にお邪魔してお菓子をもらう」という企画で、参加者、住民の方々双方とも喜んでいただいた。</p> <p>皇學館大学ボランティア「雅」のご協力の下開催している「クラブ☆よさこい」は、地域の方々に認知されてきていて町内のまつりに3回、出演依頼があった。</p> <p>小学校高学年や中学生にもたくさん来館してもらうことを期待して、高学年向きのカードゲームやコミック本等のコーナーを充実させるよう努力した結果、高学年の利用が増えた。</p> <p>放課後児童クラブでは、定員を150人に増やし保護者のニーズを受け入れ、「待機児童0」の状態であった。</p> <p>誕生会やクリスマス会、お別れ会と、保護者の方々と相談しながら様々な行事を開催した。クリスマス会やお別れ会では皇學館大学の生徒がのボランティアとしてご協力いただいた。</p> <p>年間を通し身の安全を守る対処の方法、防災、防犯の意識を向上させるため、児童館、放課後児童クラブともに災害や防犯に備えた避難訓練を月1回実施した。</p> <p>職員の資質の向上のため研修会に参加したり各自が自己研鑽に励んだ。</p> <p>今後も児童、保護者のニーズに沿った事業等を開催していきたい。</p>	<p>し、地域・大学生ボランティアと連携して事業を成功させていることは大きく評価できる。</p> <p>防災への意識が高く、引き続き防災・防犯に備えた訓練や安全管理の徹底に努められたい。</p> <p>また、市のホウ・レン・ソウも逐一あり、現場の意向をすぐに把握できる体制にあることは評価したい。</p>

指定管理業務の項目別評価表

施設名

小俣児童館

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	A	児童に健全な遊びを与え、健康を増進し情操を豊かにする施設として、円滑な運営を行った。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。
	③利用者数	A	29年度の児童館の利用者が8,031人であったのに対し、30年度は8,716人であり、毎年利用者数が増えている。	A	利用者の確保に努め、十分な受け入れを行っている。
	④運営状況	A	平成30年度の児童館会館日数は294日。児童館開館時間11時～18時。児童クラブ開館時間放課後～18時。土曜、長期休業日8時～18時まで開館。	A	法令等に定められている時間どおり運営された。また、警報発令時は臨時休館にするなど、適切な運営がなされた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	事務分担担票を設定し、適正な配置・勤務が行われた。	A	勤務体制としても効率化を図りながら、業務が滞らないよう行うことができた。
	⑥意思疎通	A	随時子ども課と連絡を取り、連絡調整を行った。また、月報および配布物等を市へ提出し、業務全体が把握できるよう対応した。	A	報告・連絡・相談等、速やかに連絡を行い、意思疎通を図っていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	毎日業務日誌報告書に各種記録を記入し、決裁後保管を適正に行なった。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。
	⑧地域の振興	A	地域民生委員、老人会、ボランティアとの交流事業を行ったり、毎年地域の子どもたちに喜んでいただいている児童館まつりや放課後の子どもたちのクリスマス会等ボランティアの協力を得ながら事業を開催した。皇學館大学のボランティアによる「クラブ☆よさこい」は地域の方々に浸透してきていて、地域のまつりに参加依頼が増えてきた。また、明野高校福祉科生徒の実習を受け入れたり、近隣住民や民生児童委員の協力の下、ハロウィンの事業を開催し地域の子ども達、住民の方々に喜ばれた。	A	地域ボランティアや大学生、地域住民との交流や連携を積極的に図り、地域の振興を図れていた。
	⑨使用許可等	A	使用許可等申請の取扱は個人情報の点からも適正、慎重に行なった。	A	使用許可書等申請の取扱は適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	A	代金回収サービスを活用し、利用者には負担のかからない方法で行えた。医療費受給者資格がある保護者には減免をおこない、帳簿を作成し適正に行うことができた。	A	帳簿は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	A	パソコン等の保管方法や名簿等の個人情報の取扱いは慎重に行うため施錠できる引き出しへ保管した。また、ブログ等に写真を掲載する際にも注意書きをし、配慮している。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、情報流出防止に努めている。
	⑫法令遵守	A	地方自治法、児童福祉法や児童館ガイドライン等各種法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

指定管理業務の項目別評価表

施設名

小俣児童館

評価項目		評価					
		指定管理者		市			
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由		
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	季節にそった行事等を強化したり、毎年恒例の児童館まつり、近隣の住民を巻き込んだハロウィンを開催したり、皇學館大学のボランティアの協力の下開催している「クラブ☆よさこい」の参加者が増えてきていること等が利用者増につながってきている。	A	季節にちなんだ取り組みや施設周辺地域にも協力を仰ぎながら地域住民にも周知に努め、利用者の増加につながった。		
	②利用者の平等な利用	B	サービスの水準を確保するため、業務日誌や連絡ノートでの情報の共有を図ったり、月1回のミーティング等や随時職員間で話し合ったり、研修に参加したり、適切な対応ができるよう努めているが、新規職員が増え、常勤職員の人数も減となり、非常勤職員との対応の差が生じるときもあった。非常勤職員が多いこともあり、できるだけ情報の共有に努め、利用者によって一定のサービスの水準を確保するよう努力したい。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。		
	③適切な情報提供	A	児童館だよりや児童クラブだよりを始め、メールでの情報提供、チラシやホームページを利用した情報提供を行った。また、放課後児童クラブ役員には、情報をいち早く提供し、相談しながら児童の育成に努めた。	A	効果的な情報提供を行っている。		
	④非常時・緊急時の対応	A	社協職員用の緊急時のマニュアルを常備し緊急時に備えるようにした。児童には火災、地震、防犯等毎月テーマを決めた避難訓練を実施し意識付けを行った。	A	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準に規定のある「月1回の非常時の訓練」も、毎月テーマを決めて、適切に行われていた。		
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者からの意見、苦情に対しては、迅速かつ丁寧な対応を心がけている。事故に関しては、「児童安全共済」「児童クラブ共済」「スポーツ安全共済」を利用し、丁寧に説明対応している。また、再発防止策や予防策を立て、安全確保に努めている。	A	適切な対応ができる体制ができています。
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	毎年満足度調査を実施し、利用者のニーズの把握に心がけた。定着している児童館まつりやデイキャンプは毎年喜ばれている。また、今年から本格的に開催している「ハロウィンイベント」であるが、大変人気で、昨年度の約2倍の参加者があった。今後も現状に満足せず、新たな取り組みにチャレンジしていきたい。	A	満足度調査によりニーズを把握し、事業の改善を行い新たな事業も検討し、次年度以降の取り組みに活かしている。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	児童館まつりやデイキャンプ等の行事においては、事前ミーティング、反省会等、打ち合わせや確認見直し等も行っている。また、他の事業についても、事業報告書等を作成し次年度へつなげている。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われている。また、反省点等はすぐに確認し、改善を行っている。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。	A	安全チェックシートを用いて、毎月点検し、異常が発生した場合は速やかに対応した。また、月報や日誌にも記録している。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	備品について丁寧な扱いを心がけ、破損、紛失等がなかった。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	異常があった場合は、速やかに対応を行ない、月報や日誌に記録をとった。また、速やかに伊勢市に報告を行った。	A	応急処置は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	児童や職員ともに毎日掃除を行っている。その他、年末の大掃除に加え、放課後クラブの保護者の協力の下年2回の大掃除も実施した。	A	予定通りの清掃を行った。利用者からの苦情もなかった。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は事務室に一括保管し管理している。館内にはセコムによる緊急通報装置を設置。委託期間中に防犯に関する問題はなかった。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。